

ノーマルモデルとはまったく別物。Esoteric に匹敵する音質を実現

**AB CG10M Special**

希望小売価格 ¥173,000 (3ch モデル・税別)

希望小売価格 ¥178,000 (4ch モデル・税別)

ノーマルモデルからのバージョンアップ

¥65,000 (3ch モデル・税別)

¥70,000 (4ch モデル・税別)

コンプリートパッケージ

追加費用 ¥10,000 (税別)



コンプリートパッケージは、CPSC-L 1.25m がセットになったお買い得パッケージです。

### 10MHzの高周波発信回路には特別なパーツが必要です

オーディオ機器に必要とされる周波数帯域は、最大で「50KHz」程度あれば十分です。時折、100KHz を超える周波数までフラットになっていることを自慢する機器もありますが、スタジオで使われる収録マイクの周波数帯域が最大で「25KHz」程度しかありませんから、測定できる高域の限界よりも「必要とされる周波数帯域で良い音質であること」の方が遙かに重要です。しかし、音声周波数の100倍以上高い「10MHz」を高精度で生成することが求められる10MHzクロックジェネレーターに求められる高周波再生能力は遙かにシビアです。

高音質を実現するためには、高精度（高音質）の「水晶発振子（OCXO）」の搭載は基本ですが、水晶発振子が出力する小さな信号を増幅する回路の正確さ（S/N・C/Nの高さ）も同じように重要です。

完成したAP505 Specialに接続しているUD505 Specialへ「ノーマルのCG-10M」を接続すると、空間が濁り音の広がりや解像度が阻害され解像度も低下しました。つまり、接続すると音が悪くなってしまったのです。AP（AX）505とUD（NT）505がノーマルならば、このような問題は起きなかったと思いますが、AIRBOWのカスタムチューンにより、曇りガラスがクリスタルガラスに変わるくらい透明感と解像度が向上しているSpecialモデルでは、CG-10Mの発振回路で発生する「ノイズ（偽信号）」が明らかに悪さをしたのです。

CG-10Mのようなシンプルな回路では、個々のパーツの品質がとても重要になります。最も注意しなければならないのは「振動による共振の発生」です。高い周波数の正弦波が通過するとき、パーツは信号に揺すられて共振します。CG-10Mには高周波特性に優れた「セラミックコンデンサー」が多用されています。しかし、経験上高周波発振回路に（高周波発振回路だけではなくオーディオ機器全般に）セラミックコンデンサーを使用すると、コンデンサーを通過するとき、その信号が「セラミックコンデンサーを振動させ」、その振動が残る（共振する）ことでセラミックコンデンサーが「あってはならない偽信号（共鳴信号）」を発生するのです。

このコンデンサーの共振による「信号の劣化」は、セラミックコンデンサーのような圧電素子（電気が加わると振動し、振動すると電気を発生する素子）で最も顕著です。測定的には優れたコンデンサーですが、音を濁らせる原因になるセラミックコンデンサーや、強度の低いマイカコンデンサーは、可能であれば高周波信号系に使わないのがベストです。

CG-10Mのカスタムチューンでは、通常のアンプと同じ「電源強化」のメニューに加えて、発振回路の電源に使われている電解コンデンサーを「生産完了したOSコン」に交換し、信号が通過する部分のセラミックコンデンサーに「生産完了したブラックゲートの無極性品」を「追加」することで、電源の共振を抑え、信号系統の共振ノイズを排除しました。パーツ数で言うと、発振回路1chにつき「たった3箇所の変更」でしかありませんが、その効果は絶大です。

AIRBOWのカスタムチューンによりCG-10Mは、高価なEsotericクロックジェネレーターに匹敵するきめ細やかで透明なサウンドに生まれ変わりました。UD/NT505 SpecialにCG10M Specialを追加すると、低音の量感と力感、空間の広がりや定位の明瞭度が向上し、音楽のきめ細かな表現力が一層深まることを感じ取っていただけでしょう。

## 3chモデルと4chモデルの違いについて

AIRBOW をご購入いただいたお客様や、ご購入を検討中のお客様から一番多いご質問が「音が良いのはわかるけれど、ノーマルモデルとはどれくらい音が違っているのか知りたい」という内容です。今回その疑問にお答えするために CG10M Special の 4 系統の発振回路の中で「4 番出力」の 1 系統の発振回路のみをあえて「未改造」とすることで、「たった 3 箇所の変更」でも大幅な音質改善効果が実現することを確認していただけるようにしました。

もちろん、主電源回路や水晶発振子周辺回路など共通する部分は、すでにカスタムチューンが行われていますから、発振回路のみが未改造でもノーマルモデルよりも音質は向上しています。それでも、発振回路への「たった 3 箇所に改良」ですら、音質が劇的に向上することを知っていただければ、AIRBOW のカスタムチューンの効果を納得していただけると思うのです。

4ch モデルでは、すべての発振回路がカスタムチューンされています。3ch モデルから 4ch モデルへの変更は販売価格の差額「5,000 円 (税別)」でいつでも承りますので、接続する機器が増えたときにも安心です。

## ノーマルモデルからのカスタムチューン

逸品館以外のお店や中古で TEAC 505 シリーズを購入された場合、追加費用のお支払いで AIRBOW モデルへのチューンナップを承ります。ノーマルからのチューンナップでも、純正の AIRBOW 製品と変わらぬ性能を発揮しますが、AIRBOW モデルを新品でご購入の場合に付いている「24 ヶ月修理保証」と「1 ヶ月満足度保証」は附属しません。改造によって故障発生の頻度が増えることはありませんが、万一改造後発生した故障につきましては、改造前の製品がまだメーカー保証中であつたとしましても保証はなくなり、有償修理となりますのであらかじめご了承の程お願い申し上げます。※一部対象外のモデルもございます。

- クロック出力コネクタ: BNC × 4

※3ch モデルは、うち 1 系統が未カスタマイズ

- 出力周波数: 10MHz 出力インピーダンス 50Ω

- OCXO(水晶発振器):

クロック安定時間: 約 2 分 (電源オンから発振器安定まで)

周波数温度特性: +/- 3ppb 以内 ※ppb=10<sup>-9</sup>

周波数精度: +/- 0.1ppm 以内 (出荷時) ※ppm=10<sup>-6</sup>

- 消費電力: ウォームアップ時 15.6W 安定時 8.5W

- 本体寸法: W290 x H84.5 x D248.7 mm (突起部を含む)

- 重量: 3.6kg